

CMIC REPORT 2011

シミックレポート 2011

シミック株式会社 第27期 中間ビジネスレポート

2010.10.1-2011.3.31



CMIC

Pharmaceutical Value Creator

証券コード: 2309 東証一部

人々の、健康で喜びに満ちた
幸せな生活を支えるために
～シミックグループの想いを、かたちに～



コーポレートシンボルのペンタゴン(正五角形)は、シミックグループの5つの事業領域(CRO事業、CMO事業、CSO事業、ヘルスケア事業、IPD事業)と、5つの事業が織り成すシナジーをシンボリックに表したものです。人々の健康で喜びに満ちた幸せな生活を支えるために、新たなビジネスを創出し、社会への貢献度を高めていく新たな事業の確立をめざすシミックグループの企業姿勢を表現したデザインです。

ペンタゴンに描かれた図形は、「人間」を表したもので、頭部のように見える丸は「知性」と「先見性」を、それを支える体のように見える曲線は、目標に向かい行動し成し遂げる「遂行力」と、飛躍するための「挑戦力」を表現しています。



Message from Kazuo Nakamura

中村和男メッセージ

代表取締役会長兼社長／CEO

CONTENTS

CEO中村和男メッセージ	01	CSR活動のご紹介	12
当第2四半期のご報告	02	業績ハイライト、連結財務諸表	14
2011年9月期の見通し	06	シミックグループのご紹介	18
TOPICS 1: アジア展開	08	会社概要、株式の状況、株主メモ	22
TOPICS 2: CMO事業の拡大	10	healthクリックの健康コラム	25

当レポートに記述されている業績予想並びに将来予測等は、入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があります。

CRO事業が順調に成長を続けるとともに、今や第二の柱となっているCMO事業が、2010年4月に稼働を始めたシミックCMO静岡工場の安定稼働により業績に寄与しました。

今後も5つの事業のシナジーを活かして、よりチャレンジングな目標に向かって邁進していきます。

当第2四半期のご報告

株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度の東日本大震災により被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興を心より祈念いたします。シミックグループにおいては、今期業績に与える影響は軽微なものを見込んでいます。さて、医薬品業界では、国の医療費抑制政策や、主力製品の特許切れなどの厳しい状況が続いており、製薬企業の外注ニーズは引き続き拡大しています。

このような環境のもと当第2四半期においては、CRO(医薬品開発支援)事業が好調に推移し、CMO(医薬品製造支援)事業の主力工場である静岡工場、富山工場が業績に貢献しました。CRO事業のアジア展開を促進するとともに、分析化学サービスを行う株式会社応用医学研究所を完全子会社化するなど、医薬品の製剤処方設計から製造まで一貫したサービス提供を実施できる体制構築を推進しました。

この結果、当第2四半期は増収、増益となり、売上高は2桁成長を続けています。

主な事業の概況

CRO(医薬品開発支援)事業

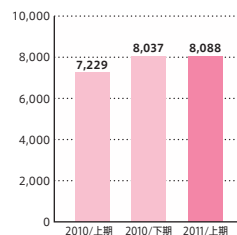
製薬企業などに対し医薬品開発(臨床試験など)を支援する事業

日本のCRO市場は成熟期に入り、業界再編が進んでいます。主に外資系製薬企業で、医薬品開発に関わるすべての業務を外注する傾向が見られるなど、従来以上にCROにも規模や経験等が必要となっています。また、臨床試験の中でも国際共同治験やアジア治験が増加しており、日本の臨床試験の環境も変化しつつあります。

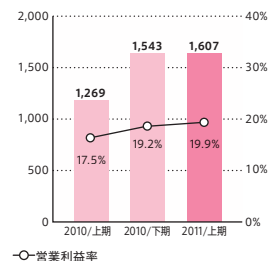
このような環境の中、CRO事業の国内基盤の強化を図るとともに、中国CROとの合併契約締結等、今後の市場拡大が見込めるアジア展開を推進するための体制強化を行いました。

当第2四半期はモニタリング業務およびデータマネジメント業務が、新規案件の獲得や既存案件の追加受注およびデータ処理件数の増加等により好調に推移し、また、海外子会社においても業績を伸ばしました。

■売上高(百万円)

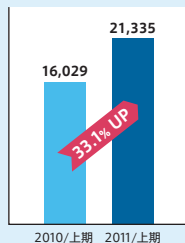


■営業利益(百万円)

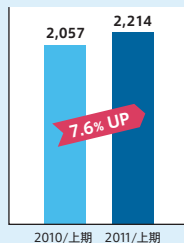


連結業績の要約

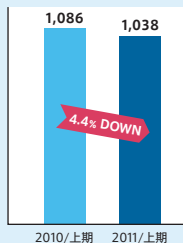
売上高(百万円)



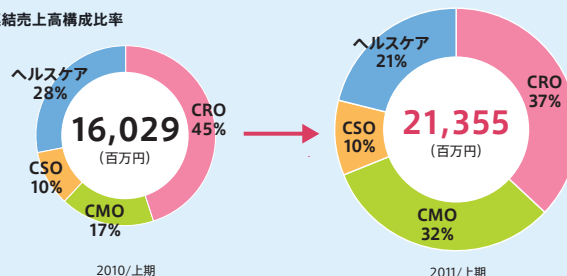
営業利益(百万円)



四半期純利益(百万円)



連結売上高構成比率



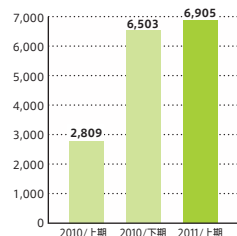
注)百万円未満を四捨五入

CMO (医薬品製造支援) 事業

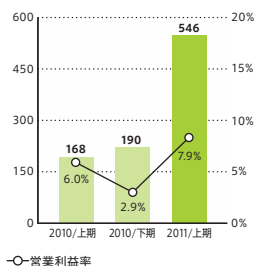
製薬企業から医薬品などの製造業務を受託する事業

当第2四半期は、2010年4月より稼動したシミックCMO株が安定稼動したこと、また、シミックCMO富山株において、新規受託案件を獲得したことが業績に寄与し、売上高、営業利益ともに前年同期に比べて大幅に増加しました。

■売上高 (百万円)



■営業利益 (百万円)

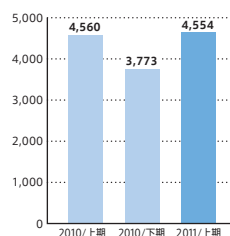


ヘルスケア事業

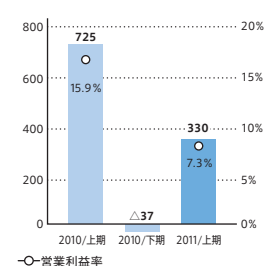
医療機関や患者、一般消費者の医療や健康維持・増進を支援する事業

当第2四半期は、SMO (治験施設支援) 業務において、2011年1月に株メディカル・ヴィタをグループ会社化するなど、関東における提携医療機関の強化を行いました。シミック株で展開している臨床研究案件が赤字であったことなどにより、営業利益は減少しましたが、売上高は前年並みで推移しました。

■売上高 (百万円)



■営業利益 (百万円)

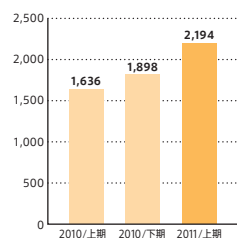


CSO (医薬品営業支援) 事業

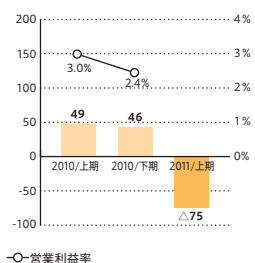
製薬企業の営業・マーケティングを支援する事業

当第2四半期は、株シミックエムピーエスエスのMR (医薬情報担当者) 派遣等の業務の拡大により売上高が増加しました。営業損失が発生しておりますが、MR派遣業務の一部案件で顧客都合によりプロジェクト開始が遅れたことと、新規案件のための採用を積極的に実施し先行コストが発生したことによるものです。

■売上高 (百万円)



■営業利益 (百万円)

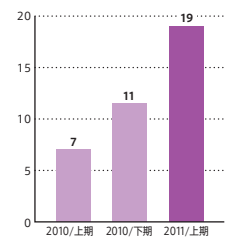


IPD 事業

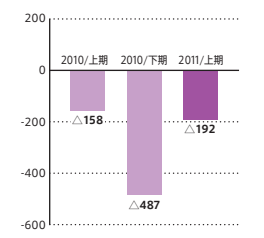
知的財産開発に係る業務

当第2四半期は、シミック株が開発し製造する「ヒトL型脂肪酸結合蛋白キット (販売名: レナプロ®L-FABPテスト)」につきまして、2011年1月より株ティエフイーを通じて販売を開始いたしました。また、希少疾病用医薬品 (オーファンドラッグ) 3剤の開発を進めております。

■売上高 (百万円)



■営業利益 (百万円)



注) 百万円未満を四捨五入

2011年9月期の見通し



今後も業務スピードアップや効率化を目指した、製薬企業のアウトソーシングニーズは一層拡大するものと思われます。シミックグループは、当社独自の事業モデルであるPVC (Pharmaceutical Value Creator) モデルで培った豊富な経験、ノウハウを活かし、各事業間の連携により、更なる付加価値を生み出していきます。

2011年下半期においては、CRO事業において、事業拡大のために積極的に人員の採用を計画しており、引き続き国内基盤の強化、アジア展開の体制強化を進めます。

CMO事業では、受託能力拡大のため設備投資を実施するとともに、生産計画を着実に実行していきます。CSO事業は、規模拡大のための人員採用などの先行投資を行いながら、市場シェア2位を目指した体制整備を進めていきます。ヘルスクエア事業では、SMO (治験施設支援) 業務における市場シェア拡大に向け、全例受注や大型案件受託の強化を推進していきます。IPD事業では、希少疾病用医薬品 (オーファンドラッグ) 3剤の承認に向けて開発を進めていきます。

通期の業績見通しは、CMO事業、CSO事業において売上高が大幅に伸長し、売上高、営業利益、経常利益において、前年同期を上回る見込みです。

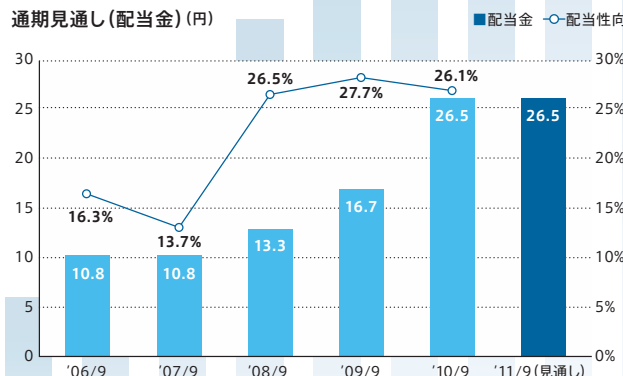
通期見通し(連結)(百万円)

科目	'10/9 実績	'11/9 見通し	前期比
売上高	35,862	41,900	+16.8% ↑
営業利益	3,311	3,700	+11.7% ↑
経常利益	3,215	3,600	+12.0% ↑
当期純利益	1,786	1,800	+0.8% ↑

通期見通し(セグメント別売上高)(百万円)

事業領域	'10/9 実績	'11/9 見通し	前期比
CRO事業	15,266	15,900	+4.2%
CMO事業	9,312	13,400	+43.9%
CSO事業	3,534	4,450	+25.9%
ヘルスクエア事業	8,333	9,000	+8.0%
IPD事業	18	50	+177.8%
内部取引消去	△602	△900	-
合計	35,862	41,900	+16.8%

通期見通し(配当金)(円)



※当社は2011年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っております。上記のグラフでは当該株式分割調整後の内容を記載しております。

注) 百万円未満を四捨五入

アジア展開

シミックは1998年に韓国で最初のCROを立ち上げるなど、いち早くアジア展開を進めてきました。現在では、韓国、中国、シンガポール(支社:台湾)に現地法人を有しています。

近年、国際共同治験が増加し、アジア地域での臨床試験ニーズが高まってきています。このような背景の中、アジア地域における営業体制を強化するため2010年には、タイのバンコク市にアセアンオフィスを開設、また製薬企業の中国におけるCRO業務ニーズに柔軟に対応するため、2011年2月には、中国のCROである、普瑞盛(北京)医薬技術開発有限公司(英語名:GCP ClinPlus)への資本参加を行うことにしました。

また、アジア専門の部門を設置し、国際共同治験に対応した治験管理システムを導入するなど、治験実施体制の整備も進めてまいりました。今後は、各拠点での対応力を強化するとともに、品質とスピードを活かしてアジアでのサポート体制を一層強化してまいります。

▶2010年12月

タイにアセアンオフィスを開設し、アジア地域における営業体制を強化。

ASEAN Branch

▶2006年11月

シンガポールに現地法人を設立し、アジアにおけるCRO事業支援を強化。支社である台湾を始め、香港、マレーシア、フィリピンといった広域での支援を実施。

CMIC ASIA-PACIFIC, PTE. LTD.

▶2001年9月

シミックチャイナ北京代表処(駐在事務所)を開設し、中国市場へ進出。

▶2004年7月

希米科医薬技術発展(北京)有限公司(英語名:CMIC(Beijing) Co.,Ltd.)を設立し、中国でのCRO事業強化。

CMIC(Beijing) Co., Ltd.

▶1998年6月

韓国で初めてのCROとしていち早くアジアに進出。

CMIC Korea Co., Ltd.



中国 / Beijing



韓国 / Korea



日本 / Japan



中国 / Shanghai



台湾 / Taiwan



香港 / Hong Kong



フィリピン / Philippines



タイ / Thailand



シンガポール / Singapore



マレーシア / Malaysia

中国のローカルCROとの合併契約に調印



2011年2月18日、中国のCROである普瑞盛(北京)医薬技術開発有限公司(英語名:GCP ClinPlus以下GCP)との合併契約に調印しました。2004年から中国での臨床試験、薬事申請の支援を行っているCMIC(Beijing) Co.,Ltd.とともに、今後GCPは、シミック21%出資の日中合弁会社として、中国におけるCRO業務ニーズに柔軟に対応していきます。

CMO事業の拡大



受託の拡大

2005年の改正薬事法施行を機に、シミックグループは、他社に先駆けてグローバルな製造受託ビジネスを展開しています。

製造受託市場の成長とともに、韓国・日本・米国へと生産拠点を拡大してきました。2010年には、シミックCMO (株)が稼動し、軟膏・クリーム剤、固形剤(錠剤、カプセル剤など)、注射剤など、ほぼすべての剤形の製造が可能となり、生産領域が拡大しました。また、グローバルに通用する高度な技術力を蓄積しながら順調に事業拡大を続け、現在ではCRO事業に次ぐ主要事業となっています。

今後は、受託能力拡大のための設備投資を実施するとともに、4つの製造拠点と株応用医学研究所の分析技術を活かして、製剤開発技術力の強化を図ってまいります。そして将来、PVCモデルのもと、シミックグループの他の事業と連携し、治験薬製造から商業生産までの一貫したサービスを提供できるよう事業を展開してまいります。

Future: 治験薬製造から商業生産の一貫受託

将来像

3rd: 製剤開発技術の強化

3rd STEP

2nd: 新規受託の拡大

2nd STEP

1st: サービス業への転換

1st STEP



シミック CMO (静岡)



シミック CMO 富山



CMIC CMO Korea



CMIC CMO USA

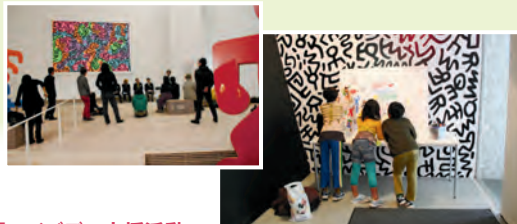


応用医学研究所との連携・技術力強化

生産効率の向上

CSR活動のご紹介

シミックグループは、
良き企業市民としての責任を果たし、
社会から信頼される企業となるため、
社員一人ひとりが
常に高い志と倫理観を持ち、
様々な活動に積極的に取り組んでいます。



世界エイズデー支援活動

—「Art Against AIDS—エイズについてアートができること」を開催

12月1日の「世界エイズデー」の主旨に賛同し、中村キース・ヘリング美術館にて、「Art Against AIDS—エイズについてアートができること」を開催しました。HIV陽性者とその家族・恋人たちがつづった手紙の朗読やHIV/AIDSに関する講演、対話型のライブペインティングなど、HIV/AIDSに関して、「関心」「知る」「参加」をテーマとしたイベントを実施しました。

『命』を支える医薬・医療事業に貢献する会社として、シミックグループができること

東日本大震災被災地支援

—義援金・物資の寄付

東日本大震災による被災者の方々の救済や被災地の復興に役立てていただくために、シミックグループとして義援金3,000万円と、従業員による義援金889万8,550円を併せた総額3,889万8,550円を、日本赤十字社を通じ寄付しました。

また、シミックCMO株式会社では、静岡県島田市市民安全課より被災地への支援物資の協力要請を受け、社内に協力を呼びかけたところ、沢山の支援物資が集まりました。支援物資は島田市を通じて宮城県石巻市に届けられました。



ボランティア活動

—プロ野球選手と共にボランティア活動に参加

株式会社シミックエムピーエスエスでは、2010年4月より社会貢献活動として、トップアスリートのボランティア活動をサポートするNPO法人『STAR POWER』に協賛しています。2010年12月には、現役プロ野球選手および、古田敦也氏と共に施設や病院への慰問を行い、スポーツやクリスマスカード作り等を通じて重い病気と闘っている子供たちと触れ合いました。

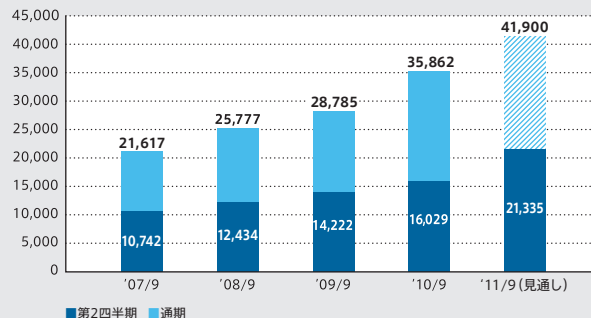
Financial Section

業績ハイライト

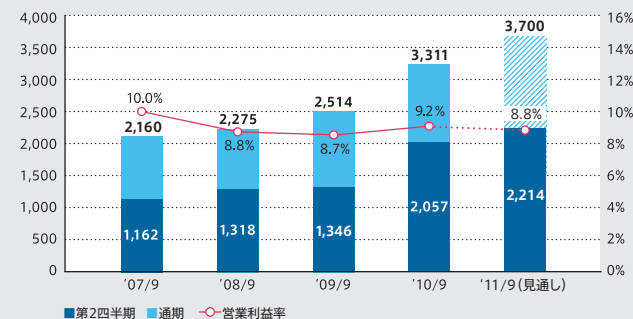
売上高・営業利益において前年同期を上回る成果。

売上高は、2桁成長を継続。当期は特別損失に資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額168百万円を計上。

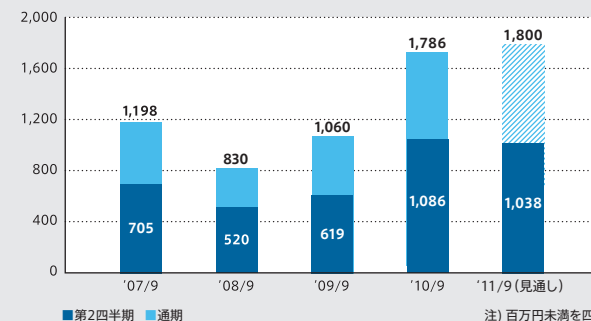
売上高 (百万円)



営業利益および営業利益率 (百万円)



当期純利益 (百万円)



注) 百万円未満を四捨五入

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要旨) (単位:千円)

科目	当第2四半期 2011年3月31日現在	前期 2010年9月30日現在
資産の部 ①		
流動資産	21,546,544	18,930,718
固定資産		
有形固定資産	10,705,820	10,674,003
無形固定資産	1,838,319	1,323,902
投資その他の資産	2,560,494	2,338,033
固定資産合計	15,104,635	14,335,940
資産合計	36,651,179	33,266,659
負債の部 ②		
流動負債	10,680,449	9,437,682
固定負債	9,540,734	8,189,735
負債合計	20,221,183	17,627,418
純資産の部 ③		
株主資本	16,630,625	15,187,041
評価・換算差額等	△ 250,457	△ 264,353
少数株主持分	49,828	716,552
純資産合計	16,429,996	15,639,241
負債純資産合計	36,651,179	33,266,659

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:千円)

科目	当第2四半期 2011年3月31日まで	前第2四半期 2010年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー ④	2,722,727	382,385
投資活動によるキャッシュ・フロー ⑤	△1,185,130	△787,445
財務活動によるキャッシュ・フロー ⑥	1,371,413	5,457,307
現金及び現金同等物に係る 換算差額	3,436	16,772
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,912,446	5,069,019
現金及び現金同等物の期首残高	5,482,860	5,512,948
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,395,306	10,581,967

四半期連結損益計算書(要旨) (単位:千円)

科目	当第2四半期 2011年3月31日まで	前第2四半期 2010年3月31日まで
売上高	21,334,825	16,029,429
売上原価	16,143,717	11,156,811
売上総利益	5,191,107	4,872,617
販売費及び一般管理費	2,976,868	2,815,508
営業利益	2,214,239	2,057,109
営業外収益	157,163	151,137
営業外費用	135,927	76,326
経常利益	2,235,475	2,131,919
特別利益	8,412	15
特別損失	178,125	37,085
税金等調整前四半期純利益	2,065,762	2,094,849
法人税、住民税及び事業税	1,232,233	974,806
法人税等調整額	△ 214,610	△ 20,900
少数株主利益	9,842	55,265
四半期純利益	1,038,297	1,085,678

主な増減(対前期末)

- ① 資産：
 - ・ 現預金29.1億円の増加
 - ・ 売上債権4.9億円の減少
 - ・ 固定資産7.7億円の増加
- ② 負債： 有利子負債が17.6億円増加
- ③ 純資産： 利益剰余金等の増加により7.9億円の増加

主な内容

- ④ 営業活動によるキャッシュ・フロー：
利益計上等による27.2億円の収入
- ⑤ 投資キャッシュ・フロー：
CMO事業の設備投資等による11.8億円の支出
- ⑥ 財務キャッシュ・フロー：
金融機関等からの借入金の増加等による13.7億円の収入

注) 千円未満を切り捨て

シミックグループについて

シミックは1992年に日本で最初にCROビジネスを開始致しました。1997年に施行された改正薬事法により、CROは「医薬品開発受託機関」として初めて正式に認められ、その後、製薬企業のアウトソーシングニーズの拡大とともに、シミックも成長を続け、事業領域も拡大しています。

CMIC企業ミッション

「EBM (Evidence-Based Medicine) の確立に貢献する企業」

シミックグループは「より良い薬を、より早く患者さんへ」を基本方針に、EBM (Evidence-Based Medicine) の確立に貢献する企業を目指しています。

CMIC企業カルチャー

PVC (Pharmaceutical Value Creator) をカタチにするために、今後ともベンチャースピリットを大切にしたいと考えています。社員個々の自主性と独創性を重んじ、就業時間等のカタチに拘束されるのではなく、仕事のおもしろさに情熱を傾けられる企業風土を確立させていくというものです。そのため、シミックは企業カルチャーとして「W&3C」を掲げ、自己学習する企業を目指しています。



Wellbeing : 苦境でもBestを尽くす姿勢
Challenge : 何事にも果敢に挑戦する勇氣
Change : ニーズを先取りする変化
Communication : 積極的なコミュニケーション

私たちのビジネス

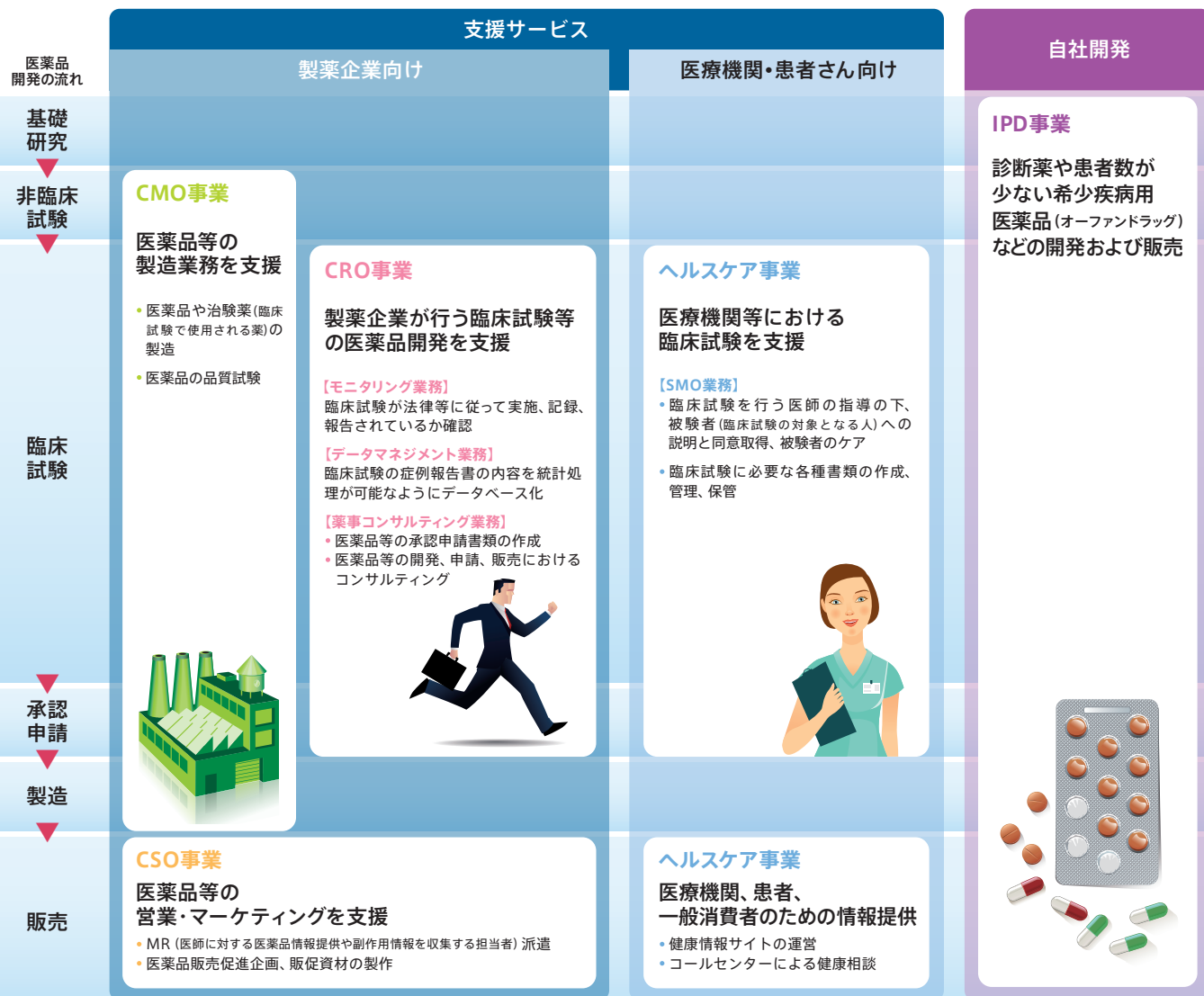
シミックグループは、独自のビジネスモデルであるPVC (Pharmaceutical Value Creator) を展開し、開発から製造、営業・マーケティングまで、製薬企業のバリューチェーンをフルサポートできる体制を整えています。現在は5つの事業領域のもと、事業間のシナジーを活かして、様々なニーズにこたえる高品質なサービスをグローバルに提供しています。

事業領域

コーポレートシンボルのペンタゴン(正五角形)は、シミックグループの5つの事業領域と、5つの事業が織り成すシナジーをシンボリックにあらわしたものです。



医薬品開発の流れと シミックグループの事業



会社概要

2011年3月31日現在

商号	シミック株式会社
設立	1985年
資本金	3,087,750千円
本社所在地	〒141-0031 東京都品川区西五反田7-10-4 金剛ビル
事業所	名古屋支社 大阪支社 九州支社
従業員数	3,628名(連結)
グループ会社 (連結子会社) 2011年4月1日現在	CMIC Korea Co.,Ltd. CMIC ASIA-PACIFIC,PTE.LTD. CMIC(Beijing) Co.,Ltd. シミックCMO(株) シミックCMO富山(株) (株)応用医学研究所 CMIC CMO USA Corporation CMIC CMO Korea Co., Ltd. (株)シミックエムピーエスエス エムディエス(株) サイトサポート・インスティテュート(株) (株)ヘルスクリック (株)シミックBS
持分法適用会社	富士フイルム・シミックヘルスケア(株)

役員 (2011年3月31日現在)

代表取締役会長兼社長	中村和男
代表取締役	中村宣雄 市川邦英 中村圭子
取締役	清水政男 佐野 極 望月 渉
取締役(社外)	原 護
常勤監査役	石丸昭雄 高本哲義
監査役(社外)	酒井 繁 種房俊二

株式の状況

2011年3月31日現在

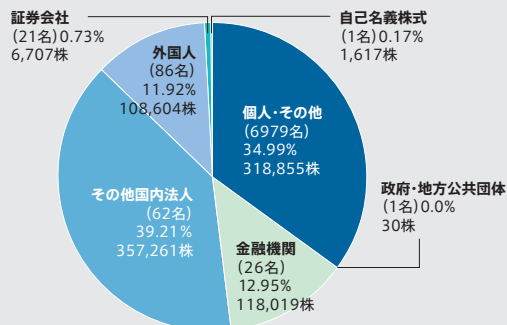
発行可能株式総数	2,300,000株
発行済株式総数	911,093株
株主数	7,176名

大株主

株主名	所有株式数(株)	所有株式数の割合(%)
株式会社アルテミス	318,410	34.94
中村和男	95,486	10.48
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	69,860	7.66
タイヨーパルファンドエルビー	46,470	5.10
株式会社キースジャパン	35,972	3.94
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	21,730	2.38
シミック従業員持株会	17,131	1.88
資産管理サービス信託銀行株式会社	16,370	1.79
TAIYO BLUE PARTNERS, L.P.	14,300	1.56
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	8,468	0.92

(注) 1. 発行済株式総数に対する所有株式数の割合は、小数点以下3位を切り捨てております。
2. 当社は2011年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき20株の割合で株式分割を実施するとともに、単元株式数を10株から100株に変更しております。

所有者別の構成比率(株式数比率)



事業年度	10月1日から翌年9月30日まで
剰余金の配当基準日	9月30日(中間配当を行う場合は3月31日)
定時株主総会	毎年12月
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
郵便物送付先・ お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-288-324(フリーダイヤル)
公告方法	電子広告(http://www.cmhc.co.jp) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による 公告をすることができない場合には、日本経済新聞 に掲載して行います。

当社は2011年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき20株の割合で株式分割を実施するとともに、単元株式数を10株から100株に変更しております。これに伴い、1株当たりの予想期末配当金は前回予想金額の265円から20分の1の13円25銭といたします。

	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (2010年11月9日発表)	265円00銭	265円00銭	530円00銭
今回修正予想	265円00銭	13円25銭(注)	278円25銭(注)
前期実績 (平成22年9月期)	190円00銭	340円00銭	530円00銭

(注) 2010年11月9日に発表いたしました期末の1株当たりの予想配当金に実質的な変更はありません。

知っておこう! 熱中症の応急処置

熱 中症かもしれない、と思ったらまず先にしなければならない応急処置を覚えておこう。右絵は自分でもできる応急処置。気分が悪くなるほどなら、ここから先は、周囲の人にサポートしてもらう必要がある。



● 筋肉がけいれんしているなら(熱けいれん)

けいれんしている部分をマッサージする。また、体の特定の部分(例えば脚など)が冷えているなら、その部分もマッサージしていこう。

● 皮膚が青白く、体温が正常なら(熱疲労)

心臓より足を高くして、あおむけに寝かせる。水分が摂れるなら、少しずつ薄い食塩水かスポーツドリンクを何回にも分けて補給する。

● 皮膚が赤く、熱っぽいなら(熱射病)


上半身を高くして座っているのに近い状態で寝かせ、とにかく体を冷却。首、脇の下、足のつけ根など、血管が皮膚表面に近いところを氷などで集中的に冷やす。氷がない場合は、水を体にふきかけ、風を送って冷やす。アルコールで体を拭くのも良い。ただし、体の表面だけを冷やしてふるえを起こさせないこと。

「healthクリック」は、健康一般情報および疾病に関する情報を提供する健康ポータルサイトです。ぜひご活用ください。



病院・薬・サプリメントの情報満載!

詳細はこちらへ→ <http://www.health.ne.jp>



Bridging to the Future

シミツク株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田 7-10-4 金剛ビル

Tel 03-5745-7070(代) Fax 03-5745-7077

<http://www.cmic.co.jp/>